

市政懇談会（２０２５年１１月４日・南市民センター）報告

出席 ○市側 市長 石阪丈一 各部担当部長

○地域側 南地区町内会・自治会連合会 会長 長谷川義剛  
副会長 細川客志

各町内会代表

金森一丁目町内会 会長 井能裕晃  
副会長 小林洋介  
防災隊長 古木 仁

意見交換

①境川の水害対策

Ｑ 都は洪水対策を１時間あたり６５ミリ規模の降雨に対応を図っているが、南関東地方では最近それ以上の降雨が頻繁に起きている。境川の整備状況を聞きたい。

Ａ（下水道部）

境川に関しては河川整備・調整池整備により、６５ミリの雨に対応できるよう進めている。それ以上の降雨に関しても２時間程度は調節池の取水によって洪水を防げるものと考えている。また境川の流れる大和市や藤沢市との連携を取る必要もあり、町田市だけですべてできるわけではない。

現在、災害が起こってしまったときのために、グランベリーパークに避難場所の作成をするための話し合い中である。住民に向き合った対応を取っていきたい。

（注）アンダーライン部分の回答は去年と全く同じ。神奈川県に対応についての情報は今年もありませんでした。

②小学校統廃合に伴う通学时安全対策

Ｑ 南地区小学校統廃合に伴う通学路の安全対策その他について聞きたい。

- ①通学距離が何キロメートル以上になればスクールバス等の運行をするのか。
- ②統廃合後の校舎・跡地はどうなるのか。

Ａ（学校教育部）

①について

市としては、距離にして２キロメートル、時間的には３０分を目安と考えている。南三小通学地域から四小まではその範囲内であり、スクールバスの運行は考えていない。

A（政策経営部）②について

跡地は地域活動拠点としての役割を維持する。避難施設としての機能も継続する

【発言】いくつかさらに聞きたい。①数年後から児童が激減する予想になっているが、減少は確実か。予想の根拠を知りたい。②南三小登校地域の端でも四小まで2キロメートル以内というのは確かなのか。③小学校統廃合に伴っていくつもの学校が南中に間借りする。南中は10年以上その対応を迫られるが中学生の不便は考慮されているのか。

A ①さまざまな資料に基づき、減少すると認識している。

②ほとんどが2キロ以内と認識しているが、いくつか例外の方がいるかもしれない。そういう方々がいらっしゃればご迷惑をおかけすることを申し訳なく思う。

③南中に長期のご迷惑をおかけすることは心苦しく思っている。しかし近くに利用できる施設がなく、ご了承願いたい。

（注）三小登校地域から四小までの距離は、後日古木防災隊長が綿密に調べてくれましたが、最大1、92キロメートル程度で2キロに収まるとのことでした。

また公共交通機関（具体的には神奈中バスのみ）も利用できるとの見解ですが、たとえば南橋バス停まで歩いてバスに乗ったとしても、四小へ行く場合は1～2の停留所で降車することになり、そこからまた歩くので適切ではないように思います。

【発言】南三小は当該地域の避難所である。閉校作業中に災害が起こった場合の避難はどうするのか。

A 閉校作業までにはまだ間がある。できる限り支障のないように手配したい。

③地域の防犯対策について

Q 南地区で最近不法侵入による窃盗、放火などが発生している。対策を聞きたい。また防犯カメラの増設を求めたい。

A（防災安全部）確かに南地区の犯罪はかなり増加傾向にある（22年に55件だった自転車泥棒が24年には69件に増加など）。町内会・自治会から街頭防犯カメラの設置希望があれば、費用補助を行うので活用してほしい。また個人宅の防犯カメラ・インターホンの設置に対する補助もあるので、問い合わせしてほしい。ぜひ個人でできる防犯対策を強化していただきたい。

意見交換の後、市長による市政報告がありましたが、省略します。